

みずほ Customer Desk Report 2018/08/29 号 (As of 2018/08/28)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.23 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.14	1.1685	129.85	1.2892	0.7350
SYD-NY High	111.35	1.1734	130.26	1.2932	0.7363
SYD-NY Low	110.95	1.1663	129.70	1.2862	0.7321
NY 5:00 PM	111.19	1.1694	130.00	1.2869	0.7337
NY DOW	26,064.02	14.38	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	8,030.04	12.14	日本10年債	0.0900	0.00bp
S&P	2,897.52	0.78	米国2年債	2.6674	2.42bp
日経平均	22,813.47	13.83	米国5年債	2.7763	3.59bp
TOPIX	1,731.63	2.68	米国10年債	2.8831	3.81bp
シカゴ日経先物	22,810.00	▲ 80.00	独10年債	0.3795	0.50bp
ロンドンFT	7,617.22	39.73	英10年債	1.4500	17.35bp
DAX	12,527.42	▲ 10.89	豪10年債	2.5700	2.95bp
ハンセン指数	28,351.62	80.35	USDJPY 1M Vol	6.27	▲ 0.14%
上海総合	2,777.98	▲ 2.92	USDJPY 3M Vol	7.15	▲ 0.01%
NY金	1,214.40	▲ 1.60	USDJPY 6M Vol	7.55	▲ 0.03%
WTI	68.53	▲ 0.34	USDJPY 1M 25RR	-0.83	Yen Call Over
CRB指数	191.71	▲ 1.16	EURJPY 3M Vol	8.31	▲ 0.17%
ドルインデックス	94.72	▲ 0.06	EURJPY 6M Vol	8.68	▲ 0.21%

【昨日の指標等】

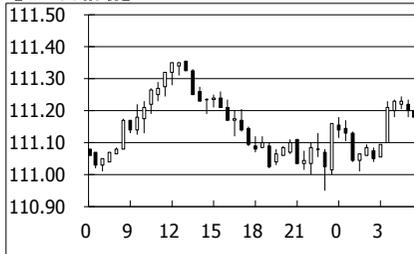
Date	Time	Event	結果	予想
8月28日	20:00	欧 プラートECB専務理事 講演	-	-
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	7月 0.7%	0.2%
	23:00	米 コンファレンスホド 消費者信頼感	8月 133.4	126.6

【本日の予定】

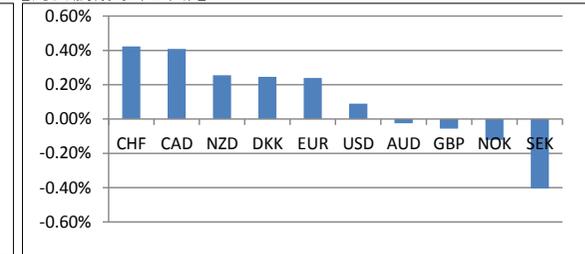
Date	Time	Event	予想	前回
8月29日	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q 4.0%	4.1%
	21:30	米 個人消費	2Q 3.9%	4.0%
	21:30	米 COPCE(前期比)	2Q 2.0%	2.0%

東京	朝方のドル円は前日からの流れが続く111円前半での推移となる中で111.01をつけて東京時間は111.14レベルでオープン。前日にNAFTA再交渉を巡ってトランプ米政権がメキシコとの協議で合意に至り、米国による一方的な通商政策を巡る貿易摩擦懸念が後退する格好に本邦株式市場が全面高となる中、日経平均株価は一時約2ヶ月ぶりに23,000円台に乗せる展開。ドル円相場も堅調推移となりお昼にかけて111.35まで上昇。その後は、日経平均株価が徐々に上げ幅を縮小していく展開にドル円の上昇も一服。引けにかけてはじりじりとレベルを下げる展開となり、結局111.21レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.21レベルでオープン。東京時間の流れを引き継ぎ、ドル円はじり安の展開。レンジも狭く111.02-23で推移し、結局111.04レベルでNYに渡った。ユーロは、1.1673レベルでオープン。欧州時間はユーロ買戻しの展開。米国とメキシコの貿易協議が合意に至ったことを好感し、欧州株価が上昇すると、ユーロ買い優勢地合いとなり、1.17台を回復すると1.1718まで堅調推移。1.1717レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2882レベルでオープン。ユーロ相場に連れる動きとなり、対ドルでポンド買い優勢となる展開。一時1.2919まで上昇し、1.2914レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	前日に発表された米国・メキシコの貿易協定合意と米加通商協議再開のニュースが海外市場にも伝わり、世界的な貿易摩擦懸念が一時後退したことから、日経平均は上昇。ドル円も連れ高となり111.35まで上昇するが、欧州時間(ドル売り)が強まったことから111.02まで下落し、111.04レベルでNYオープン。朝方は111.00近辺で小動きとなる中で一時110.95をつける。その後、米8月消費者信頼感が2000年以來の高水準となり、市場予想を上回ったことから111.18まで上昇。再び111.04まで下落するが、米金利上昇や午前中の強かった米経済指標がドル買いをサポートし、111.24まで反発。結局111.19レベルでクロス。海外市場のユーロドルは、節目の1.17台突破を試す展開が続く。早朝にイタリア財務相が「イタリア政府はEU財政赤字上限の3%を破るつもりはない」と発言したことが伝わり、イタリアの財務リスクに対する懸念が緩んだことから、1.1700を上抜け1.1717レベルでNYオープン。海外時間の流れを引き継ぎ、朝方は1.1734まで上昇するが、上記米経済指標が強かったことからドルが買い戻され1.1705まで反落。その後1.1715近辺での推移が続くが、終盤にドル買いが強まったことから1.1691まで反落し、1.1694レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-111.60	1.1600-1.1750	129.00-130.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は往って来いとなる展開。東京時間から海外時間にかけては全般的にドル売り優勢地合いとなる中でドル円もじりじりと下値を切り下げる展開に一時110.95をつけるも、米8月消費者信頼感指数が18年ぶりの高水準となる良好な内容となる反発し、111円前半まで値を戻した。本日のドル円は一定のレンジ内での上値の重い展開を予想。貿易摩擦懸念が一時後退する格好に世界的に株式市場が堅調推移となる中、一方的に円買いが進む動きにドル円が大きく下値を切り下げる展開は考えにくい。しかし、トルコリラを中心とした新興国通貨安懸念に加えて米長期金利の上昇も期待出来ない状況下、足許で上値の重さが意識されている111円台半ば付近を明確に上抜けて方向付くとも思えない。一定のレンジ内での推移となる中で上値の重い展開を基本線とした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鶴田・鶴田